

議会だより

かつら

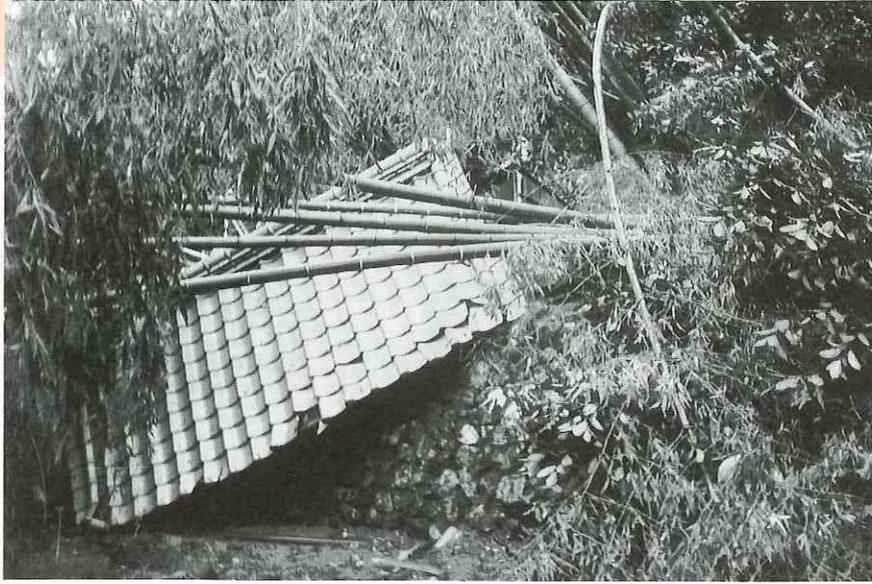
No. **6**
1999. 2.15

いきいきとした 町づくりを めざして



僕も私も声高らかに (坂本幼、小、児童学習発表会)

- 12月議会で決まったこと……………P 2～3
- 委員会の活動報告……………P 4～5
- 9年度決算認定・臨時議会……………P 6
- 一般質問11議員が登壇……………P 7～15
- おじゃまします・議会のうごき……………P 16



9月の台風7号による家屋の被害

こんなことが決まりました

12月定例議会

十二月定例議会は、十二月十日から二十二日までの十三日間開かれました。補正予算、条例改正など七議案と人事案件、決算認定、陳情処理等について審議し可決しました。

また、神原副議長が一身上の都合で辞職し、後任として宮本久治氏が指名推薦により副議長に選任されました。一般質問では、十人の議員が登壇しました。また、会期中に幼稚園存続の請願書が提出され、二日間にわたる全員協議会で慎重な審議がされると共に、本会議において緊急質問が行われました。

災害復旧費 4億1,044万7千円など 補正予算を可決

一般会計補正予算

- 老人福祉費2,060万円
- 畑総事業の施設整備事業負担金2,350万円
- 広域農道地元負担金1,817万円など6億8,449万7千円を追加するもの。

勝浦病院特別会計

- 24時間用心電計と解析器を購入485万円追加を可決。

スクールバス購入契約 坂本小学校の児童送迎用

- 契約金額966万円を可決

乗車定員42人、車両全長9m以内、200馬力エンジン、エアコン装備。

条例改正

- 坂本小学校を十一年四月から横瀬小学校に統合する条例
 - 消防団員の不祥事に対する道義的責任として、川口町長を三カ月間五％の減給にする条例
- など四件の条例改正が可決されました。

幼稚園存続の 請願を受理

幼稚園問題で緊急質問

十二月二十一日朝、坂本幼稚園の保護者代表から、幼稚園の存続に関する請願が提出されました。この問題で、議会は、二日間にわたり全員協議会を開催し慎重に討議しました。その後の本会議で、森敏治議員、末広議員、西浜議員、中西議員から、幼稚園問題で緊急質問が行われました。

問

坂本小学校の存続という地元の熱意を尊重し、二十六年間、横瀬小学校関係者ががまんとしてきた。教育面における幼保の差は少なくなっている。財政的に厳しい状況の現在、町としては、教育、財政両方をあわせて考えるべきだ。また、過去の歴史を勉強して取り組むべきだ。

答

指摘は十分受け止める。過去の事例を勉強して取り組みたい。

副議長に宮本久治議員



十二月定例議会で副議長に就任いたしました。浅学非才ではありますが、二十一世紀に向け住民の立場に立つて町の繁栄に努力して参ります。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

人権擁護委員

細川 寛氏（坂本）
の選任に同意

問

坂本地区住民には、十二月十三日における「幼稚園の休園」という思いがけない説明に対するいら立ちがある。説明不足、努力不足だ。教育行政の後退であり、公約違反だ。保育所へ幼稚園を併設できるのでないかという甘い見通しがあった。深く反省している。地元へ、改めて説明とお詫びをしたい。

問

十一年度、暫定的に坂本に幼稚園をお願いしてもらいたい。

答

十二年度には必ず町内に設置できるよいう最大の努力をするので、十一年度の休園はご理解願いたい。設置の方法について、早い時期に煮詰めていきたい。

幼稚園の存続に関する請願

「十一年度は幼稚園を休園するという教育委員会の説明には納得できない。幼稚園教育の灯を消すことなく存続させていただきたい」という趣旨。請願は総務委員会に付託されました。

末広議員急逝される



末広正太郎議員は、一月末に体調をくずされ、日赤病院で集中治療されていましたが、二月二日午後四時三十五分逝去されました。享年七十五歳。末広氏は、昭和六十二年に初当選以来、副議長を歴任されるなど、温厚な人柄で活躍されました。慎んでご冥福をお祈りいたします。



仲良く学習（坂本幼稚園）

総務

過疎法継続に向け国へ陳情

十二月四日、委員会を開き、過疎対策法についての状況、十二月議会提出の補正予算案等について説明を受け協議を行いました。

新過疎法について

平成十二年三月末で過疎対策特別措置法が期限切れとなるため、国では新しい法律をどうするかが議論されています。

問 最近の状況はどうか。

答 新法の条件が変われば、県下では、勝浦町をはじめ七町村が過疎指定からはずれる可能性が高いという情報もある。国に対する運動が必要だ。

。過疎対策って？

人口減少の著しい町村等に対し、特別の財政援助をする制度。過疎債（借入金）の元利償還額の七割が交付税で措置され返ってくる。勝浦町では、九年度までの八年間に、二十二億六千五百万円の過疎債を活用

県下では、上勝町、佐那河内村など二十九町村が過疎町村に指定されている。

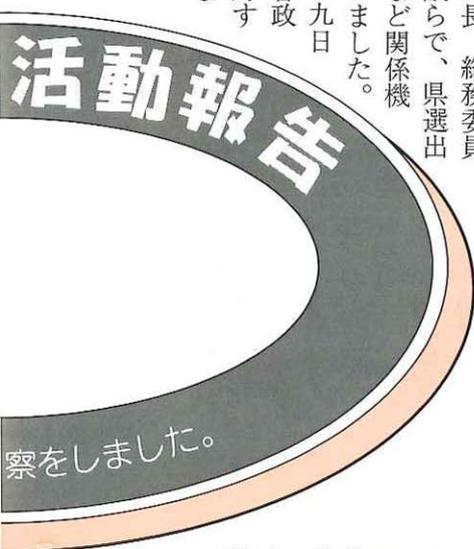


西田自治大臣（当時）に陳情

協議の結果、町長と総務委員で陳情を行うこと、続いて各政党等に対しても要請をしていくことなどを確認しました。

十二月十四日、町長、総務委員、正副議長、岡本県議らで、県選出国會議員や国土庁など関係機関等への陳情を行いました。

また、二月八日、九日には、議会として各政党、関係省庁等に対する要請行動を行いました。



察をしました。

産業建設

サル一匹に五万円

十二月十日、委員会を開き、産業振興課、土木課、耕地課から十二月議会に提出の議案等の審議を行いました。

産業振興課

- ・補正予算の主なものとして
- ・農業振興費、百六十七万九千円、（平成十年流通モデル推進事業）
- ・土地改良事業推進費、二千三百五十万円、（畑線の施設整備）
- ・林業振興費、十五万円、（有害鳥獣〈サル〉駆除）

このほか勝浦土地改良区から畑総事業完了による、施設の町への移管申し入れの件について報告があり、水利権については、県・河川課の水利使用、運営管理上の問題があり、現時点では農林事務所耕地課に置きたいとの説明がありました。

問

水利権は重要であり確保しておくべきだ。しかし県との確約があいまいなようなので、もう少し県当局と問題を煮つめてほしい。

土木課

- ・道路改良費、二億百一十万円
- ・公共土木施設災害復旧費、二億九千四百四十万円（河川四十カ所、道路三十カ所）

耕地課

- ・広域農道整備事業
- ・耕地（三十六カ所）及び林道（七カ所）災害復旧事業費等、一億二千六百七十万円

答

戸川産業振興課長施設の移管と併せて、水利権について、改良区と協議しながら取り組んでいきたい。



こくろうさまです!!
改良区職員、汗だくで清掃

六十五歳以上の半数

地域振興券交付対象者

十月二十九日、十二月八日、一月十四日、委員会を開き、住宅マスタープラン、悪臭陳情書、地域振興券、クリーンセンター関係、幼保一元化病院関係などと、各課の十二月補正予算及び、臨時議会提出議案について審議しました。

主な審議内容など

住宅マスタープラン

西岡果樹試験場下の民有地、約一・二haを第一の調査地としたいと環境課より説明があり、現地を視察後協議に入りました。

問

第一の調査地とした理由、及び関係者の状況は。

答

地理的条件が比較的良好、面積が適当。地主が一名。地主、地元、隣地から調査の同意は得られている。

委員会としては、調査研究と開発は別問題だとし調査については認めました。

沼江地区悪臭陳情について

十二月十四日、陳情者代表と話し合いを行い、文面の一部を訂正、三月議会採択に向け、取り組む事を確認しました。

地域振興券に関して

住民課で対応する

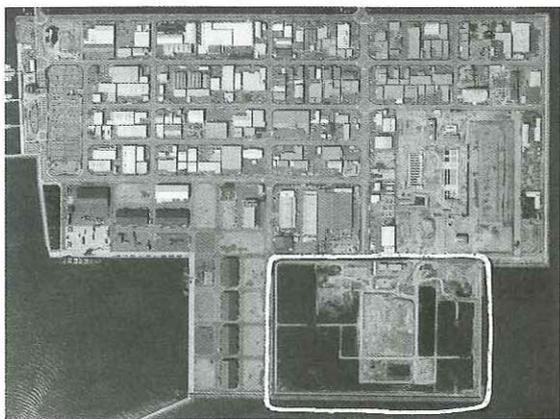
旨説明があり、委員より

(1) 十五歳未満は全員適用

なるので問題はないが、六十五歳以上約千九百人のうち約半数しか交付されない。問い合わせ、苦情の処理は適切にするように。(2) 交付時には混乱の生じないよう、方法をよく検討するように、などの意見が出されました。

クリーンセンター関係

焼却灰処分場の問題について、十二月二十四日、沖ノ洲の、県環境整備公社を訪問し、研修しました。



マリンプシア沖洲全景と徳島県環境整備公社

委員会の

審査・調査・視

視察報告

待合室にも心配り

千葉県、鋸南町立病院

備の整った病院がないためだと言え、医薬分業は十年前より実施、給食の委託も考えている。できるものは民間委託し、町の負担を軽くしたいと考えている。

特に感心したのは「ふれあいギャラリー」と名付けられた待合室であった。町内の人が書いた絵がズラリと展示しており、待ち順のわかるテレビや写真入りの担当医案内板など、病院的待合室とは思えぬ心配り、患者への思いやりがうかがえた。

・医薬分業とは

医師の処方せんに基づいて薬局が薬を調剤し患者に提供すること。

顔写真入り担当医案内板

外 来 担 当 医 案 内		鋸南病院	
月	火	水	木
外 科	山金銀	石橋	有馬
内 科	森	保住	山田
二 診	阿久津	山田	休 診
三 診	平野	平野	休 診
眼 科	千葉大	千葉大	千葉大

受付時間 内科 8:15-11:30
外科 8:15-11:00

自治体病院の約七割が赤字に苦しんでいる。勝浦病院は、院長をはじめ、医師、職員の努力で県下自治体病院の中で内容は良い方だといえ、一般会計から数千万円を負担しているのが現状である。医療をとりまく環境は、年々厳しくなっており、介護保健導入後は更に経営が厳しくなることが予測される。これら問題点を検討するため、昨年八月、同規模の自治体病院で、積極的経営に取り組んでいる鋸南町立病院への視察研修を行った。鋸南町でも数千万円負担はしているが、住民に役立ち喜んでもらえる病院として、議会、医師、職員一丸となり存続させるのだと言う気概が議長や院長の話の中にも感じられた。CT・MRIなどの機器を導入して大きな成果を上げているが、近隣に設



心なごむ待合室

猪名川町議会（兵庫県） 産業建設委員来町

フライトパークや 運動公園を視察

去る十一月二十四日、兵庫県猪名川町議会産業建設委員会の山崎福市委員長（勝浦町棚野出身）ら十二名が来町されました。

リバーフロント事業で完成した星谷運動公園とフライトパーク事業（ハングライダー、パラグライダー基地）の概要について、目的、事業費、効果及び運営上の問題点等について熱心に研修、現場視察をし、夕方離町されました。



フライトパークを視察

13項目の意見を付け

9年度決算を認定

総務委員会に付託されていた9年度一般会計、特別会計の決算について、総務委員長から13項目の「特に留意すべき事項」の意見を付け認定すべきという報告があり、全員一致で決算を認定しました。

〈特に留意すべき事項〉

- 企画財政課 高率債の繰り上げ償還および財政の健全化
- 総務課 事務の効率化と時間外勤務の軽減
- 同和対策課 ①住宅新築資金等の未収金の早期徴収
②行政の主体性と一般行政への移行
③団体助成金等の交付には決算および事業実績関係書類等の提出を
- 税務課 納税意識の高揚と納税相談
- 勝浦病院 効率的な病院経営と住民の健康保持
- 住民課 保育料滞納の解決
- 産業振興課 地域農政推進協議会の再検討
- 環境課 ①農業集落排水事業への加入推進と未納分担金等の徴収
②住宅使用料、し尿処理費滞納の解決
③クリーンセンター維持管理費の軽減の取り組み

陳情書を採択

中角地区ほ場整備および バイパス建設促進の陳情書

中角区長麻植登氏ほかから、昨年七月に提出され、産業建設常任委員会で審査されていたもの。
全員一致で採択。

平成十一年度 第一回臨時議会

第一回臨時議会が、一月十九日に開かれ、提出された二議案は全員一致で可決されました。

一般会計補正予算

地域振興券の予算額は

四千六百二十万円

地域振興券交付のための予算として、四千六百二十万円を可決しました。

この券は

- (1) 交付は三月二十三日～二十五日
- (2) 町内だけでしか使えない
- (3) 千円券（二十枚）になるが、つり銭はもらえない
- (4) ポスターなどのある店でないと使えない
- (5) 汚れたり、破れた券の取り替えはできない

また、クリーンセンターのダイオキシン対策等計画書作成費として、二億百五十二万円が計上されました。

これらの財源は、国からの交付金、補助金でまかなわれます。



農業振興助成

どんな農機が多いのか

運搬車やボイラーなどである

(戸川産業振興課長)

神原 忍 議員



問 今年度の農業助成対象品目の中で、農家から要望の多かったものは何か。

また、国土庁から出された「生活空間倍増戦略プラン」に町も申請書を出すのか。

答 戸川産業振興課長 農業近代化の補助の中で多かったのは、運搬車やハウスのボイラー、園内作業道

の舗装などである。

十一年度の農業助成予算も昨年、今年の傾向を重視しながら農業振興計画を充実させたい。

答 石尾耕地課長 県単補助事業では農地の基盤整備、園内道の造成などが現在行われている。

広域農道、南部農免道路も将来、農業振興に大きく貢献すると思うので、早期の完成に努力したい。

答 川口町長 「空間倍増戦略プラン」は数カ町村の広域的なもので、十一年度から五カ年の継続事業とな

る。そして十一年三月が締め切りなので忙しい。

しかし、勝浦町としても将来に夢のあるキラリと光る申請書をつくり提出したい。

答 滝花企画財政課長 職場空間、買物空間など倍増プランは経済再生のための対策で、「二十一世紀型社会の構築に資する事業」の一つ。各担当課で計画案の検討中である。

飲み水は生活の基本

問 中山・横瀬水道組合の水源に問題はないか。

答 桂木環境課長 水源地については調査した。水質検査でも安全であることを確認している。今後、関係機関、組合役員とも協議しながら対処したい。



農家での使用が増えた運搬車

生比奈財産区の町管理について

財産区議会の意向により検討したい

(川口町長)

国清 栄 議員



問 財産区の維持、管理はどのようになっているのか、またその成り立ちは。

答 国清総務課長 生比奈財産区は蜂須賀家の所有であったが、大正十二年、生比奈村有林となった。町有林については、植栽後下刈り、間伐は二十年間は町主体、それ以後は財産区で行なうこと

になっている。

問 伐採時の収益金は公的事業に使用された。今後の管理運営についても、町に行ってもらいたいとの意向が強いようであるが。

答 川口町長 財産区議会で意見集約ができれば検討したい。

台風被害常襲地の抜本改良を

問 行司・並松谷川の形状の悪さが原因で、はき出し口の田が常時土砂流入の

被害を受けている。何とかならないか。

答 石尾耕地課長 はき出し口は直角に近く折れ曲がっており、その影響で被害を及ぼしている。しかし耕地災害であり負担なしの事業は難しい。

中高一貫教育・勝浦の方向は

実践研究の委託を受けるのは難しい

(松浦教育長)

問 中高一貫教育や高校通学区の細分化など教育環境は大きな変革の時期を迎えようとしている。今後町の教育の在り方は。

答 松浦教育長 十年十月の話があった。十一月と十二月の二回、町内各小中学校関係者、高校教育振興会で検討委員会を開き、現時点では委託を受けるのは難しいとの結論となった。なお、今後このような会を存続させて、より良い教育の在り方を考えていきたい。

住宅団地造成 西岡地区か

調査研究してみたい (川口町長)

福徳重二 議員



い計画を示してほしい。

答 桂木環境課長 コンサルタントを投入して町

内広く調査し、二十六カ所を候補地としているが、五カ所を調査研究候補地とし、中でも西岡地区果樹試験場下(民有地)を一番に調査研究したい。町全体では三百戸、千人を人口増計画としたい。

問 なぜ西岡地区が一番の調査研究候補地なのか。

答 桂木環境課長 面積が一町二反と広いうえ、

地形がゆるく三市に近い。

問 今後の作業手順はどうなのか。

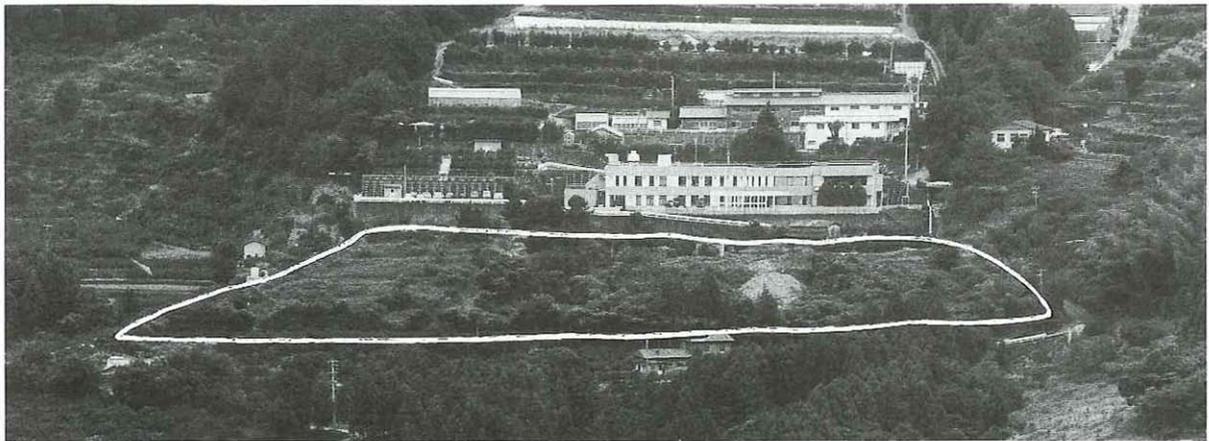
答 桂木環境課長 平面図作成、ボーリング、上下排水等の調査をする。

問 調査結果で造成価格、周辺整備等で条件が整わなければ計画中止はあるのか。

答 川口町長 中止せざるをえない。

答 川口町長 住宅マスタープランでの総合的な判断で考えていきたい。

問 住宅マスタープラン(住宅団地造成)が計画されようとしているが詳しく



住宅マスタープラン調査地

公共工事で
下請けも
町内業者にせよ

問 最近、頻繁に新聞、テレビ

等で公共工事の請負契約に際して競売入札妨害事件が報道されている。過去に町内でこのような事件はなかったのか。

答 川口町長 妨害があったかどうか関知していない。

問 類似したようなことはないか。

答 川口町長 そのような報告は受けていない。

問 競争入札では町内業者を指名しているのは当然として、不景気な状況のなか下請け工事

も町内業者ができるように指導してはどうか。業者からの陳情があったと思う。

答 川口町長 下請け工事については行政として指導することは難しい。

町長は主体性をもって
町政運営を

問 徳島県知事、徳島市長、藍住町長の住民投票による条例制定に必要な署名活動

に関して法的拘束力のない住民投票の必要なし、との発言は、ことの善しあしは別にして、これまさに主体性ある発言と思う。藍住町長にいたっては、「住民投票するのに口をはさまないが、その必要性はない。条例を議会に提出することになって付帯意見はつける。」と言っている。木頭村長にしても一貫してダム建設を反対している。主体性ある行動だ。町長の政策運営に意見の別れるのは当然である。県内外での条例制定に必要な署名活動結果からみても行政に対する批判ともとれる。町長は住民の批判を覚悟のうえで町政運営ができるか。先を見あやまると町民は不幸を負うことになる。

答 川口町長 町民の声を聞くということが基本でなければならぬ。総合的判断で町民が幸せであるという確信を得たなら、批判があってもおし通すのが町長としての信念だと思ふ。

介護保険制度の具体化と

運用について

中西晴美 議員



したい。町の負担は、給付費の八分の一になるので安くなるが、事務費が国保会計より多くかかるので、結果的にはわからない。本人負担は、所得の多い人は幾分安くなるが、低所得者は幾分高くなる見込み。

問 国民年金から天引きの人はどうなるか。

答 岡本住民課長 保険料が二千七百円になった場合、国民年金加入者千七百七十人、三万円未満三百五十四人で、差し引き千四百六十人となる。

町内企業に対する積極的支援対策と町民所得向上対策は

問 船井電機、フジテックの那賀川町への撤退後、町民の雇用状況は。加工農協、勝浦縫製の状況は。商工会に対する補助金三百万円は十年来据え置きであり、商工振興に対する熱意不足では。

答 光井福祉課長 県の試算で、勝浦町は二千七百円。一号被保険者二千五百五十人、二号被保険者千九百七十七人、四十歳未満二千六百九十人。民間機関などと連携

答 戸川産業振興課長 船井電機男五人女四十二人計四十七人、内、十三人は横瀬タクシーで送迎している。

フジテック女三人男一人計四人。加工農協男五人女四人計九人。勝浦縫製男二人女二十三人計二十五人。あと男三人女十人増やしたい。商工会が新しい事業に取り組めば補助事業に組み込む。

問 町内企業は不況だが、存続できるように支援したい。

答 川口町長 農業所得と商工業所得と合わせて向上を計りたい。

県道、町道の基本的改良対策について

問 町道二十万mの改良舗装費はわずか三千万円の予算だ。

答 横瀬橋関連の棚野側県道改良を早急に実施されたい。

問 秋本土木課長 約二十万mの町道の内、十四万二千mについて、アスファルト舗装で十四億二千万円、コンクリート舗装では二十一億三千万円必要。棚野側は横瀬橋本体から切り離し緊急主要道路予算で対応となつたので、地元の見解が一致すればとりかかりたい。

勝浦町財政の推移と健全化対策について

問 数年後県下市町村の中で一番悪くなると思われる、勝浦町の財政状況は。

答 滝花企画財政課長 推測では、公債費比率十九年十八・七%、十二年十八・九%、十三年二十三・九%、十四年二十六・九%。

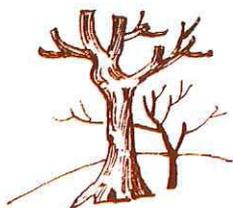
問 債務負担行為一・二%を含めた公債費比率は、約二〇%となる。財政再建団体とならないためには減債基金の積立と支出を少なくする以外に方法はない。そのため、職員に土曜日の隔週勤務をボランティアアでお願ひして人件費の抑制をすべきである。

答 滝花企画財政課長 減債基金は、九年度末九百七十万円、十年度で六千六百万円、計七千七百万円である。できれば七千五百万円以上繰り上げ償還したい。

答 川口町長 ボランティアについては、職員といろいろ話し合ってみたい。



全面舗装の必要な町道



住宅マスタープランは 需要重視の調査研究を

森 健 議員



が述べられた。宅地需要販売面の調査研究が、より重要である。購入調査等による回答と、実際の購入では差もあるようだ。どう対応できるか。

答 桂木環境課長 昨年九月に、住民とふるさと会々員にアンケート調査をした。ある程度の希望はある。問題は価格面であり、坪単価に換算して七万〜十万円が値ごろ感のようだ。分譲価格としての適否等含めてよく調査研究していきたい。

問 勝浦町では、三市に隣接した、しかも県都より二十二kmという好条件を活かして「田園地域における安全で豊かな居住空間づくり」を掲げて将来の町づくり住宅施策をたてているが、同様な事業に取り組んでいる他町では、宅地の売れ行き不振が報じられている。経済界の不況や同種事業に取り組む町村の出現が理由として述べられている。



住宅マスタープラン調査地

答 松浦教育長 十年三月に「指針」が出された。県、国へと協議をすすめたが、施設目的の外使用や財産処分等諸般の事情で十一年度は設置できない。十二年度開設をめざしたい。

答 川口町長 幼稚園は必要であると考えているが、年間の出生が四十人、諸施設の状況等を考えながら前向きに検討していく。

存続すべきは町立幼稚園、幼保一元化で幼稚園の灯を消すな

問 坂本小学校閉校にともない幼稚園の灯が消えかかっているやに聞く、幼保の一元化実現のための「施設の共用化等に関する指針」も出された。平穩な閉校については地元住民のご理解のお願いだ。幼稚園のゆくえは、坂本区民はいうまでもなく、婦町

による若者定住促進や、町のイメージからも町内外の一大関心事だ。六月議会にも質問したが、取り組んだ経過と町長の姿勢を伺いたい。

実施直前の公的介護保険、準備は万全か 問題点は

問 実施前の準備として勝浦町では、百人の試行事業、実務のため職員一人がケアマネージャーの実務試験を受験するなど、広域的な取り組みについても検討していることを伺ったが、経過や結果、問題点の有無などを伺いたい。

答 光井福祉課長 実務試験では、県下約二千八百人中千四百人が合格し、町の保健婦一名が受験し合格した。

試行事業では、円滑な運用のための事業として取り組ん



沼江バイパス

だ。広域対応については、全県下の検討がされている。

沼江バイパス 第二期工事について

問 町境の峠を越えると、県道は広く開けて「癒しの郷」づくりの鉄塔がそびえ力強さや将来の活況を感じさせている。振り向けば、狭い県道とバイパス工事の予定地だ。現況と今後の見通しについて。

答 秋本土木課長 路線測量は、ほぼ完了、一月末に用地の境界立会や詳細設計に入る。地元での説明は三月になると思う。

地域の畜産公害 環境整備、その後の対応

宮本久治 議員



問 最近情報でも、入植しなくてもよいと町長より聞いたので畜産農家は解決済みだと言っているが、どうするのか。

答 川口町長 本年中に畜産農家、陳情者と個別に協議したい。

答 戸川産業振興課長 畜産振興と併わせて、公害の出ないように努力するため団地建設に十億円を投資したのであり、稼働率100%にする事が基本である。

住宅マスタープランの状況は

問 マスタープランのほかに若者向け住宅建設の計画はあるのか。

答 川口町長 若者向け住宅は基本的にマスタープランのなかで考えている。

答 桂木環境課長 住宅マスタープランで西岡地区を調査中。平



台風による生名谷川のはんらん

面、縦断、横断図を作成中である。現地は地すべり区域であり、県砂防々災課と協議が必要である。

問 西岡地区で調査後、建設が不可能となった場合、他地区でも進める計画があるのか。

答 桂木環境課長 現在は一カ所のみであるが、1ha以上の候補地があれば連絡してほしい。

十年度台風災害について

問 本年度発生した台風での災害状況は。

答 秋本土木課長 災害件数七十三カ所、内、河川四十カ所、道路三十三カ所で今回査定に出しているのが四億二千万円である。

答 石尾耕地課長 災害件数七十二カ所、内、五十四カ所が査定された。

問 平成九年度事業の繰り越しは完了したのか。十年度事業はスムーズに実施を。

答 秋本土木課長 九年度で完了。本年の災害については早急に実施するように努める。

答 石尾耕地課長 前年度からの繰り越しはない。十年度災害については土木課同様に努める。

生名・大井線改良計画は

問 供用開始に向けての課題点と年次計画はどうか。

答 秋本土木課長 この路線は赤線・青線・境界線等登記事務が残っている。本年予算七百円執行に対し地元、地権者の協力を得ながら事業を進めたい。

答 川口町長 年次計画により実施している。



供用開始が待たれる生名一大井線

幼稚園設置は十二年度にできるか

設置できる方法を早く考えたい

(松浦教育長)

原田昭三 議員



問 十二年度には、必ず幼稚園の設置はできるのか。

答 松浦教育長 十一年度に十分検討し、できるだけ早く設置できる方法を考えていきたい。

増減税はどうなる

九十八%の町民は増税に

(倉橋税務課長)

問 全国的に大変厳しい不況となっているが、町民の暮らしの状況をどうみているか。

答 川口町長 町民の暮らしは、悪くなっていると感じている。

問 不況対策として国は六兆三千億円の減税を打ち出しているが、特別減税を廃止するため、来年度は年収八百六十二万円以下のサラリーマンは増税となる。町内において、減税および増税になる納税者の比率は。

答 松浦教育長 八年度の調査では六十戸の回答の中で約三十人くらいの希望者があった。



不況で厳しい勝浦町の商店街

答 倉橋税務課長 減税になると思われるのは三十九人で一・八%、増税となるのは二千二百二十七人で九十八・二%であり、ほとんどが今年度と比べて増税となる。

消費税の引き下げ要望を

その考えはない

(川口町長)

問 地域振興券はどのような人に配布されるのか。

答 岡本住民課長 年齢十五歳以下の人では千七十四人。六十五歳以上の人は千八百九十八人いるが、そのうち約九百人の人が交付の対象となる。

問 地域振興券では経済効果が少ないのではないかと。消費税の三%への引き下げを国に要望していく考えはないか。

答 川口町長 町も消費税の交付金をもらっているのに、消費税引き下げを国に要望していく考えはない。

農業地域調査団の内容は

問 農業振興のために、地域調査団を作つて取り組んでいると聞か、その内容は。

答 戸川産業振興課長 二十人の調査団を作り、地域の実情を調査していろいろ新しい事業を展開していきけるような取り組みを考えていきたい。

同和行政終結への取り組みは

問 同和向け個人給付事業の状況は。

答 駒津同和对策課長 ゴミ袋代は九年度から有料に、十年度からは、保育料軽減率は四十%から三十%へ、



四月に廃校になる坂本小学校と幼稚園

問 奨学金は八十%の額に減額、住宅家賃は公営住宅法に基づくものに変更している。

答 川口町長 今年度はまだ会を開いていない。

問 十一年度において、同和団体助成金を減額する考えはあるか。

答 川口町長 懇話会に諮る中で意見も聞き、決めていきたい。

介護保険

特養老人ホームでは

四万七千円の利用料

井出幸夫議員



要では。

答 川口町長 今の段階ではやるかどうか答えられない。

問 喜楽園入所者は、一律四万七千円の利用料が必要になる。現在の負担額は、また、何人の人が負担増になるか。

答 光井福祉課長 平均では約三万四千円である。二十七人の入所者が負担増となり、十人は減になる。

問 介護保険料を国保税に上乘せするようになるのと、滞納者が増えるのでは。

答 倉橋税務課長 負担増になり、滞納者が増えるのではないかと心配している。滞納者へのペナルティーは。

問 光井福祉課長 滞納分の保険料を払い込まないと、保険給付を差し止める等のペナルティがある。低所得者対策として、保険料の減免制度が必

しかし、「児童生徒の差別発言は、先生から注意を与え、皆が間違いを正しあうことで十分である」と指摘されているはずだ。学校への団体の介入は認めるべきではない。

答 川口町長 運動団体に任せてしまふのはよくない。

答 松浦教育長 学校のことは学校現場で解決すべきだ。教育の中立性を主体に考えて対応していく。

これでいいのかわ 決算書なしの同和 団体助成金

問 徳島県町村会から同和団体に支出している総額一億六千八百万円の根拠は何か。

答 川口町長 町村長が決めている。

問 町村会は同和団体助成金の決算書すら提出しない。これで妥当な支出といえるのか。その一方で、学校では紙もチョークも節約節約、

トイレットペーパーも不足しそうな状況だという。弱いところの予算は次々削る、強いものには言いなり、こんな行政でいいのかわ。

今山橋の見通しは 十二年度に完成させ たい (秋本土木課長)

問 今山橋の完成見通しは。

答 秋本土木課長 十二年度に完成させたい。十一年度には、橋の下部工事ができるように要求していきたい。

企業等の実情把握を

問 景気は最悪の状況。町内企業や商工業者の実情把握と適切な対応をすべきだ。

答 戸川産業振興課長 実態を十分把握し、必要に応じて関係機関等への対応をすばやくやりたい。

十年度中にホーム ページ開設

問 町村独自のホームページを開設する自治体が増えていますが、県下の状況は。

答 戸川産業振興課長 県庁のデータでは、二十八町村が独自のホームページを開設している。

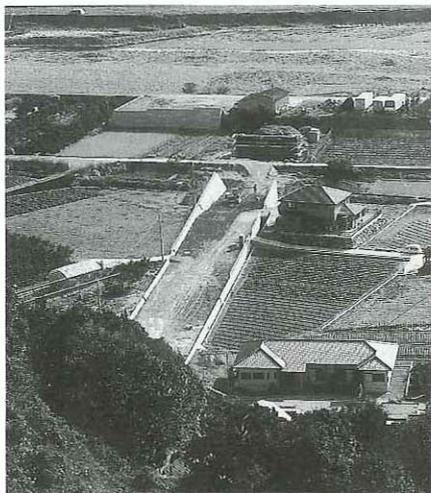
問 町内のインターネット利用者の協力も得ては。また、ホームページ開設の時期は。

答 戸川産業振興課長 そのようにしたい。開設は十年度中に行いたい。

学校への団体介入は 認めるな

学校現場で解決 すべき (松浦教育長)

問 板野郡内の中学校で、生徒が友達に送ったポケットベルのメッセージの中に「差別発言」があったとして、生徒の両親や役場、教育関係者を集めて部落解放同盟主催の「確認会」が行われた。



工事が進む今山中央線（今山から山西方面を望む）

活力のある町づくり

農産物

加工センターの設置を

森 敏治 議員



広域農道整備促進を
図りたい

積極的に取り組む
(川口町長)

問 農業振興対策の一つとして、市場性に乏しい農産物を有利に販売するため、加工センターの設置が急務であると思うが。

答 戸川産業振興課長 みかんプラス他の作物を加工し、農業の下支えをすることは重要である。そのため受け皿づくりが必要で、農協や地域調査会等で論議し実現したい。

問 広域農道は、補助事業の中で最も有利な事業である。国五十%、県四十%地元負担十%で、町商工業の発展のためにも、積極的に取り組むべきだ。

答 川口町長 広域農道に從事している方も多く、重要な事業だ。特に、費用のかかる橋やトンネル工事は、別枠の予算で確保できないか県とも協議している。財政が許す限りがんばりたい。

問 広域農道の舗装はどう考えているのか。
路床工事が終わっている四工区の舗装を早急にできないか。

答 石尾耕地課長 上勝町では、舗装が終わっているところもある。県は路床



早期完成を旨す広域農道

行政改革の進み具合は

問 行政改革調査会の検討経過と今後の取り組みは。

答 滝花企画財政課長 行政改革検討委員会は八回開催し、現状と課題を取りまとめた段階であり、行政改革調査会は二回開催したところである。

一月に入ってから集中的に

審議して頂くようになっており、答申を頂き次第検討し、大きな問題については、十二年度実施となる。

学校総合問題 に関連して

問 文教施設検討委員会の取り組みの経過と今後の対応を問う。

答 入田教育委員会事務局長

坂本地域活性化委員会では、一定の方向づけができていますので、専門家と協議して、企画提案書を出してもらっています。

十一年度当初予算に計上できよう努力したい。

答 川口町長 十一年度に予算措置し、専門家の結論を待つて、一日も早く着手し坂本区民の期待にこたえたい。

問 町づくりの観点から子育て環境の整備が急務である。人格形成は、三歳児からとも言われているが。

答 川口町長 子育て環境を良くすることは当然である。その中で幼稚園は必

要であり、十一年度で十分検討し、十二年度設置に向け最大限努力したい。

問 今朝の徳島新聞や地元からの要望書等をどう受け止めているか。町内に幼稚園の灯を消すなど言う趣旨である。

答 川口町長 町内どの位置に設置するか、幼稚園と保育所の関係等総合的に検討し、住民の納得のいく形で進めたい。

坂本小学校の学校林をどうするのか

問 学校林については、確固たる歴史がある。地元に移管すべきだ。

答 入田教育委員会事務局長 学校林設置は、町名義で登記された経過もあり、横小からは地理的にも、また、管理面にも問題があるとのことで、所管の委員会に諮り、三月には条例を改正したい。

問 町有財産を管理する担当課長の考えは。

答 国清総務課長 町有財産を委譲、処分するためには、法的手順があり、議会の議決を得て条例を改廃したい。

地域振興券

納得できる説明をせよ

万全を期す（岡本住民課長）

西浜勝己 議員



問 納得してもらえない人もあるのではないかと聞かされた。今後、研修会なども予定されているので知識を得たい。その上で臨時議会を開催し、議決を頂いたのち町民に周知徹底をはかりたい。

なぜともしびを消した幼稚園

復活に向けて対策を検討（川口町長）

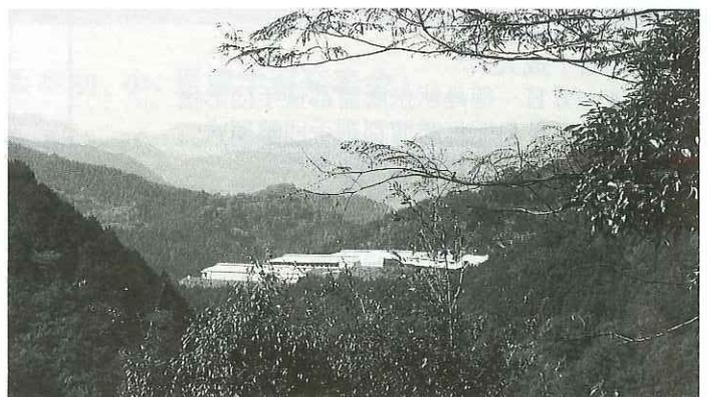
問 幼稚園問題は幼保一元化による全体統合か、部分統合なのか、まだ方針が決定していないとの九月議会の答弁だったが、その後どのようなふうになっているのか。

答 苦情処理も含めて時間をかけて取り組まれない。担当責任者はだれか。岡本住民課長 苦情処理は課長対応で行いたい。

言うが、復活できる確約はあるのか。

答 川口町長 保育所に併設する方針で取り組んできたので、小学校併設については十分協議するには日時が足りなかった。十二年度の幼稚園設置に向けては、早急に対策を検討したい。

問 坂本地区で保護者に説明したのが十二月十三日だったと聞くが、内容は「決定した」と言う事後報告であり協議ではなかったと関係者は言っている。驚いた保護者達による「幼稚園のともしびを消すな」の住民の要望署名が行われているとのことだが事実関係をはつきりせよ。



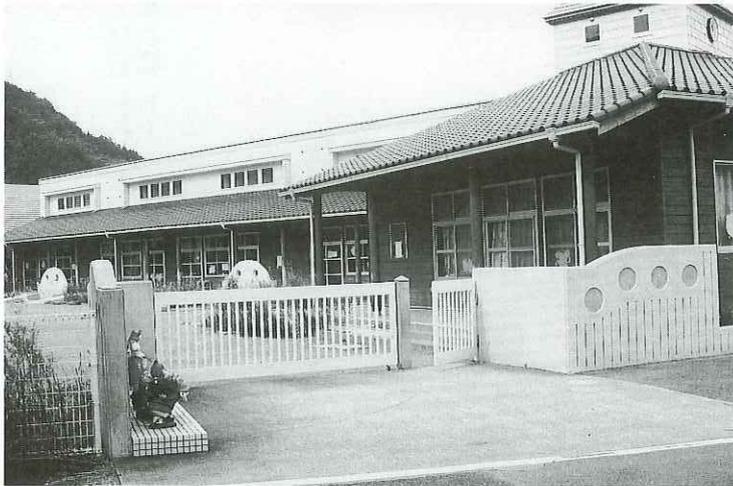
ここまで臭う畜産公害（口立川より望む）

答 来る年の抱負について所見をうかがいたい。

答 川口町長 反省することが多いが、しいて言うならば、成果として待望の横瀬橋の完成と生比奈保育所新築落成、機構改革の実施等である。反省として畜産公害の未解決と幼稚園の休止、町内企業の撤退や閉鎖等が考えられる。来年への抱負として農業の振興、環境問題、介護保険の取り組みと幼保一元化、今山中央橋の着工に力を注ぎたい。

問 創設される地域振興券についての対応策であるが、町民六十五歳以上千八百九十八人のうち、九百人程度の人々にしか支給されないという。支給されない人に対して納得できる説明に大変苦労すると思うが、どのような方法を考えているか。

答 岡本住民課長 現在、県の担当者から内容等について説明を受けているが、まだすべてについては教わっ



四月から坂本の幼児が通う横瀬保育所

問 小学校に併設する方法もあったはずだ。検討したのか。また、一年間休止すると

答 川口町長 保育所との併設方針を決め、県に申請したが認めてくれず断念せざるを得なくなった。

問 小学校に併設する方法もあったはずだ。検討したのか。また、一年間休止すると

答 松浦教育長 事前説明が遅れて関係者には大変申しわけなく思っている。今後、一日も早く坂本地区関係者に了解して頂くような説明の場を持ちたい。

ゆく年の成果と反省 来る年の抱負は

問 一年間勝浦町長として取り組んできた川口町の、ゆく年の成果と反省、

壮年の夢を追い続けて

大西一司さん
溝内康宏さん

野球・勝浦クラブ壮年部

— 活動内容は。

○町内の野球を愛する四十歳以上の有志で結成、今年で十年目を迎えた。チームの夢は、四国制覇と国体出場である。

週一回の練習と試合を通じて、チームの和と健康増進に務め、生涯野球を目指している。

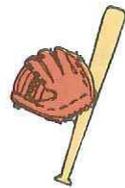
県大会優勝、勝率八割、平均打率二割八分九厘、防御率二・二二点が今年度の成績。

— 議会だよりの感想は。
○私達、壮年は働きざかり、子育ての真最中であり議会傍聴などの機会がとりにくい。

議会だよりでその内容が、詳しく掲載され、町民とのパイプ的役割が果たされていると思う。

— 議会や町政への意見は。

○スポーツ振興と、野球人口拡大のため、常に大会等が開催できる町営野球場の建設と、各種スポーツ指導者の養成、及び、補助金を考えて頂ければ……



厳しい不況に打ち勝とうと懸命に頑張っている人達が多い中、行政にかかわる者や、議員による不祥事が数々報道され、その信頼が失われつつあります。

私達は町民の代弁者として、その期待に背かないよう、常に厳正に行政をチェックするとともに、少しでも「町の活性化につながる発想を」と活動をしておりますが、皆様の目にはどのように写っているのでしょうか。

「開かれた議会」へと、広報発行にも真剣に取り組む中で、皆様の御意見、御批判も頂きながら、少しずつでも前進していききたいと思います。(義)

第10回四国壮年王座決定戦準優勝(平成10年11月3日)



議会のうごき

11月

- 2日 総務常任委員会決算審査
- 4日 議会広報調査特別委員会
- 5日 総務常任委員会生比奈財産区現地踏査
- 6日 議会広報調査特別委員会、全員協議会
- 9日 過疎町村議会議長研修会
- 13日 勝浦郡町村会議員研修会
- 16日 小松島市外三町村衛生組合臨時議会
- 18~20日 町村議会議長全国大会
勝名地区町村議会議長県外視察研修会
- 24日 兵庫県猪名川町産業建設委員会視察来町
- 30日 議会運営委員会

12月

- 4日 総務常任委員会
- 7日 産業建設常任委員会
- 8日 厚生常任委員会
- 10日 12月定例議会開会、全員協議会
- 13日 徳島駅伝勝浦郡選手団結団式
- 14日 新過疎法制定陳情 東京都
- 16~18日 12月定例議会再開、一般質問
全員協議会
- 21~22日 12月定例議会、議案審議
全員協議会、閉会
- 24日 厚生常任委員会徳島県環境整備公社研修
- 25日 地域改善対策懇話会

1月

- 2日 成人式
- 4~6日 徳島駅伝勝浦郡選手団応援
- 6日 徳島駅伝勝浦郡選手団解団式
- 12日 議会広報調査特別委員会
- 14日 全員協議会、厚生常任委員会
- 15日 消防出初め式
- 18日 地域改善対策懇話会
- 19日 臨時議会、議会広報調査特別委員会
- 21日 議会広報調査特別委員会
- 25日 議会広報調査特別委員会
- 28日 議会広報調査特別委員会

編集後記